

# 笑楽幸

土佐清水市立清水小学校  
校長室便り 令和2年12月16日

## 12月に入り

12月も中旬になりました。あれだけ厚かったのに校長室の日めくりカレンダーもずいぶん薄くなってきました。これまでは気がつきませんでした。冷たい風が吹くとヒラヒラとなびくようになってきています。

1年が経つのは本当早いものです。しかしコロナ感染は終息するどころか、12月に入り高知県では毎日の新規感染者が毎日のようにでています。いつもならインフルエンザがやり始める時期でもあります。インフルエンザにかかっている人は本当に少ないようです。

さて学校では、いつ誰が感染するか分からない状況になっている今、あらためて次の点の確認をお願いします。

- ① 37.5℃以上の発熱等がある場合は、学校まで連絡を下さい。
- ② 身体のだるさや息苦しさ、高熱がある場合は、病院を受診してください。
- ③ 同居の家族等に①、②のような症状が見られた場合にはかかりつけ医、医療機関等に相談してください。

自分のためにも、そして周りの人のことを思いやることを大切にしながら、これまで以上に感染症予防対策をとりましょう。

## 学校での重点取り組み

学校では、感染症予防対策としては、毎朝の検温、体調チェック、マスクの着用の徹底を図ります。また手指消毒や換気も積極的にします。校内の消毒もこれまで以上に取り組みます。

冬になり気温も下がってきませんが、暖房をつけ少し窓を開けた状態で換気をしていきます。授業や給食もできるだけ三密を避けるように取り組みますが、先ずはマスクの着用は保護者の方の協力なしにはできません。児童によっては「忘れてきました。」「どこかに落とした。」等と言って気にしていない児童もいることがあります。

マスクを着けている、着けていないでずいぶん違うし、予防のためには大事なことなので、ぜひご家庭でも登校前には、声かけ、確認をよろしくをお願いします。

合わせて学校では、保健委員会が中心となり「ムンムン」「ぎゅうぎゅう」「ガヤガヤ」という合い言葉をもとに感染症予防に取り組んでいます。ぜひ、どんな取り組みなのかをお家でも聞いてあげてください。



## ミッションに挑戦

「およそ6年という時間…。」

みなさんは6年間という時間があればどんなことをしますか？またはどんなことができると思いますか？

あれもできる、これもできる…ではなく、ここで取り上げるのは、1つのことに一生懸命取り組んでいる人達のお話です。

テレビや新聞で目にしたと思いますが、「はやぶさ2」が打ち上げられて、小惑星から試料を持ち帰ってくるまで6年間の月日が流れました。地球から約3億キロの距離にある小惑星リュウグウに行き、その惑星の試料を採集して地球を持ち帰った可能性が高いと言われています。宇宙を旅すること6年間というのは想像もつかないものです。

「我々はどこから来たのか」この問いが今回の目指すところだといわれています。

リュウグウからのサンプルを持ち帰って分析することで、太陽系の起源と進化、生命の原材料物質を調べることに繋がるそうです。担当者の方が『玉手箱』と言っていました。本当にどのようなことが解明されるのか楽しみで仕方ないことですね。

ちなみに、「はやぶさ2」は次のミッション達成のために別の小惑星に向かいましたが、「11年後に到着し、上空から観測する探査を行う。」と言うことでしたが、行って帰ってくるのに22年かかるのかな？と思うと私自身80歳近くなりませんが、元気にその時を迎えたいものです。



## 今年の漢字は

毎年年末には、漢字一字で今年の世相を表していますが、先日その字が発表されました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、多くの人が「3密」を避けようとする意識など、日常生活に大きな影響があったという理由で今年は『密』が選ばれました。

候補には挙がっており、みんなが思っていた字が選ばれたのではないかと思いますがいかがでしたか？

第2位はやはり感染症に関連した文字で『禍』でした。ずいぶん新型コロナウイルスの感染に関連した文字が選ばれたようですが、『密』には「親しむ」という意味もあると清水寺の住職さんは話されていました。

リモートや在宅勤務などおうち時間が増えたことで、あたためて人との関わり方を考えさせる場面が多くなりました。「人とのつながり」や「つながり方」の大切さがより一層クローズアップされた1年であったと思いますし、「命の大切さ」や「思いやり」などいろんな事を考えさせられた1年でした。

ぜひ来年は、延期になっている東京オリンピック・パラリンピックも開催できて、今まで以上に人と人のつながり「密＝親しむ」を大切にできる1年になるように祈りたいものです。